



2学期を終えて

美瑛町立美沢小学校 校長 温泉 敏

令和4年が終わろうとしています。皆様にとって、どのような1年だったでしょうか。冬休みに入るにあたり、子どもたちには次のような話をしました。

- ①自分の生活を自分でコントロールできるようにチャレンジしてみよう
- ②あいさつ、礼儀、マナーをしっかりとしよう
- ③自分の役割をもとう
- ④安全に過ごそう

少し具体的に書いてみます。①は自律・自立についての内容です。自分で考えて行動する。振り返って直すところは直していく。これはごく普通のことだと思います。それは自立（これ以後は「自律」の意味も含めて「自立」と標記します）するために必要なことでしょう。だから、学校でも家庭でも小さいときから自分の生活を、あるいは感情をコントロールすることを繰り返し学んでいくのだと思います。

より具体的に記するなら、例えば「学習は〇分」とか「ゲームは〇分以内」となるのかと思います。それ以外にも「〇〇を手伝う」というものもあるでしょう。そんな生活をしてほしいと思います。

②は日常でもいわれることだと思いますが、時期的に多くの人と関わる機会が多いことから大切にしてほしいと思っています。子どもたちも「あいさつ」と言えばすぐにわかりますが、例えば誰かの家に行った時（友達でも）、脱いだくつをそろえるということも含まれています。そういったことができるようになってほしいと思っています。

③は家族の一員として何かをしてほしいと思っています。そこで「ありがとう」と言葉のやりとりがあると、さらにいいのではないかと思います。家族の一員として役割を担っているということが意識できるのだと思っています。

④は文字通りのことです。

2学期は学芸会がありました。保護者アンケートでは大変高い評価をいただきました。あわせて、2学期の学校評価でも1学期よりも良い評価をいただきました。時代はどんどん変わっていきますし、様々な言葉が生まれては消えていきます。今は「VUCA時代」といわれたり「Society（ソサイアティ）5.0」といわれたりしています。私たち現場にもいろいろなことが出てきます。特に時代を象徴するだろうと思われる1つにメタバース（仮想世界）のことがあります。

例えば、さいたま市では不登校児童生徒にメタバースで登校した場合でも、校長の判断によって登校したことにする、という動きがあります。つまり、家でメタバースに入り、その世界で友達と一緒に教室で過ごし、給食時間になったら「じゃあ、また」といってメタバースから出て家で昼食をとることができることとなります。

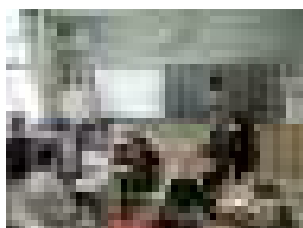
そうすると「学校って何？」となるのではないかと思います。時代によって「学校」の存在意義は変わってきているのだらうと思います。では、この時代において「学校の意味」「学校の存在意義」は何かを一度立ち止まって問うことも、もしかすると大切なのかもしれません。

長くなりました。この1年の皆様からのご理解・ご支援・ご協力に改めて感謝申し上げます。どうぞ、よいお年をお迎え下さい。

【参観日がありました】

12月9日に参観日がありました。今回の参観日でも小規模の特徴がでていたように思います。

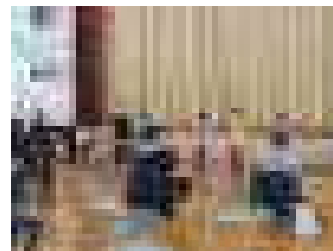
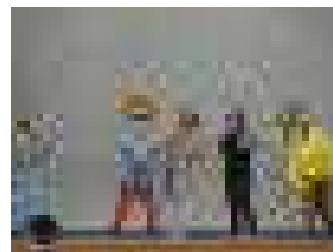
低学年は学芸会の時に欠席した児童がいましたので、改めて全員での演技・演奏を披露しました。本番から時間が経過していましたが、演技・演奏どちらもよくできていましたし、学芸会の時よりもリラックスしていました。



中学年の算数は今回もクロムブックを活用した授業でした。個人思考・集団思考の場があり、個人思考はロイロノートに各自記載し、それをもとに交流となります。以前にも書いたかと思いますが、ICTを活用した授業はごく日常的になっています。子どもたちのタイピングはとても速いです。

左上の写真はクロムブックの付箋機能を使って自分の考えをジャムボードに貼り付けているところです。写真奥にある大きな画面にジャムボードが映し出されています。

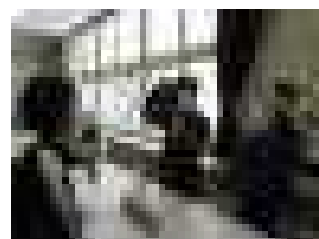
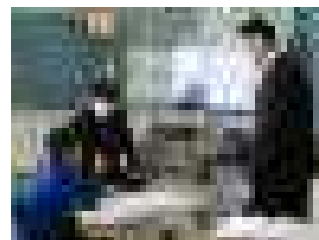
4年生は先に記載したロイロノートで発表したあとの交流と、そのまとめの様子です。



高学年は5年生が外国語、6年生が理科でした。外国語はリアンキーさんと担任と一緒に授業でした。一学年の児童が一人の授業です。メリットをどう生かしていくかがポイントになるでしょう。余談ですが、ある道北の小規模校では、学年一人の授業の時に、人形等をいくつか置いて、担任が何役かもちながら異なる意見を出している授業がありました。

教育の世界にも、いずれ映画と同じようにメタバースの世界が入ってきて、いるはずのない人がとりにいたり、教室中にたくさんの人がいたりする時代がくるのでしょうか。

6年生の授業の理科は「水溶液の性質」の学習でした。数種類の液体が試験管の中に入っており、それぞれの液体名を探っていきます。そのために匂いを嗅いだりもします。でも、アンモニアだけは遠慮したいところ。実際に目の前での実験ですから、保護者の方も参加できます。これが小規模校のいところなのでしょう。



いじめ根絶に関する標語作成

いじめ調査（アンケート）は、毎年2回実施しています。今回2回目の実施にあわせて、各学級でいつもよりも深いいじめについて考える時間を設定し、考えたことをわかりやすい言葉にして標語を作成しました。

低学年 いじめをしないで みんななかよく

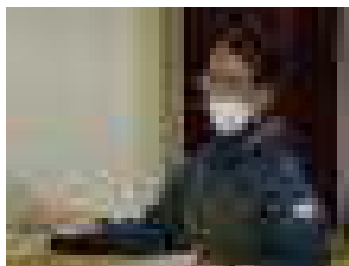
中学年 悪口は 心の中に はりをさす

高学年 見過ごさないで いじめの小さなSOS

～美沢小の12人～

本校6年目になります町田涼介教諭。皆さんの方がよく知っているのではないのでしょうか。

1年間の教育活動を動かす中心的な役割を担っています。教頭と連携しながら本当によく学校全体を観て、いろんなことを考えて活動を進めてくれています。



授業でもどこでも大きな声を聞いたことが全くありません。いつも物静かな声で子ども

たちと話をしています。

学校を離れての町田先生は自転車に乗ってどこまでも。マイ自転車で風をきりながら景色を楽しみ、体を動かすことが大好きです。なんだか羨ましい。

この他にも川釣りが好き。早朝から川の音を聞きながら、ゆったりと待っているなんていいですね。それから、バトミントンも。ハードなスポーツもなんのそのなのです。

佐々木仁美教諭も本校6年目になりますので、町田教諭同様、皆さんよくご存じだと思います。

本校の特別支援コーディネーターで学校内での特別支援に関することはもとより、町はもちろん、他市町村の関係機関との連携の核となって子どもたちを支えてくれています。

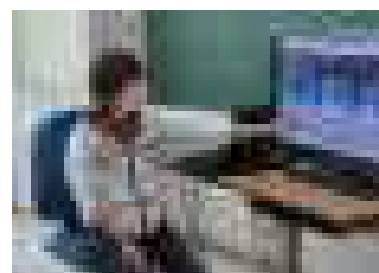
佐々木先生は本校の誰より音楽が堪能。ピアノもできますが、なんといつでもリコーダーの名手。佐々木教諭の所属する団体はリコーダー演奏で全国大会にも出場するほどの実力があ

ります。そういう温泉は、その演奏を一度聴く機会に恵まれました。素敵な音色を響かせてくれます。子どもたちも一度聞いてほしいなあと思っています。

冬の事故、雪山での遊びや軒下に注意するよう、地域の大人みんなで子どもたちを見守りましょう。

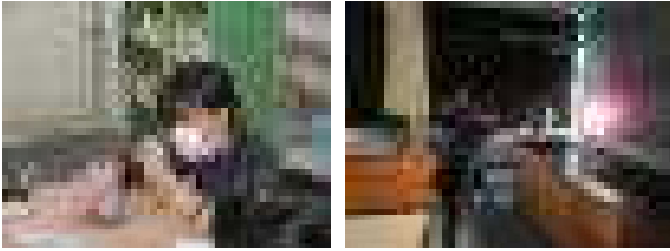
1月の行事予定

日	曜	行事予定
1	日	学校閉庁日
2	月	学校閉庁日
3	火	学校閉庁日
4	水	
5	木	
6	金	
7	土	
8	日	
9	月	成人の日
10	火	
11	水	町学習ルーム
12	木	町学習ルーム
13	金	町学習ルーム
14	土	
15	日	
16	月	
17	火	
18	水	始業式 職員会議 冬の下校指導
19	木	
20	金	スキー教室① ALT
21	土	
22	日	
23	月	児童朝会 二計測
24	火	中学校出前授業 冬休み作品・自由研究発表会
25	水	ALT
26	木	スキー教室② 職員会議 保育所来校日
27	金	委員会 ALT
28	土	
29	日	
30	月	教育相談週間（～3日まで）
31	火	



【あんなこと・こんなこと ～活動の様子～】

今月も様々な活動をしています。その様子を写真でふり返ってみます。



左側の写真は、陶芸教室で素焼きした作品の着色の様子です。着色すると作品も一段とよくなってきます。

右側の写真は理科の太陽と月の動きを実際に光源とボールとを使って実践している様子です。あわせて、12月14日をピークにふたご座流星群を観ることができました。

左側の写真は、2年生生活科の学習で前号に続いて、今度は図書司書の渡辺さんへのインタビューの時の写真です。渡辺さんのおかげで図書室がいつも整理されています。ちなみに、新刊図書でサバイバルシリーズが入り、子どもたちは喜んでいました。

右側の写真はご覧の通りボルタリングの様子です。高学年にはちよっと物足りないのかもしれませんが、美沢から世界を目指す選手がでないかなあ、思います。



左側の写真は保健体育委員会が企画した全校遊びでの一コマです。校内を使ってのかくれんぼですが、捜して手の児童はふりつけをしながらか動き、楽しませてくれました。

右側の写真はクロスカントリースキーの靴選びの一コマです。積雪も多くなって、いよいよクロカンの活動が始まります。

左側の写真は、今年から始まった外国語学習のESGの様子です。CDから流れた英語を聞き取り、それにあった挿絵を選んでマークシートに記入します。6年生のみの取組です。

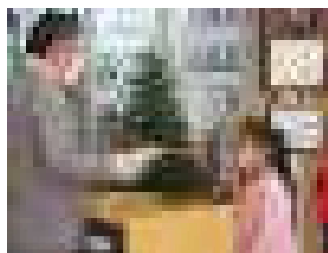
右側の写真は一輪車検討の一コマです。ほぼ学芸会一色だった11月上旬からは、なかなか一輪車練習の時間を確保することが難しかったのですが、それでも検定級に挑戦する子が多くいました。合格に届かなかった子どももいますが、体力づくり、目標に向かって取り組もうとする意志を育てるうえではよい教材でもありますので、3学期の子どもたちの奮起を期待したいと思います。



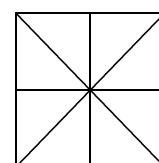
入選おめでとう

さんが美瑛町社会福祉協議会主催の福祉作文低・中学年の部で優秀賞を受賞しました。

タイトルは「しょくひんロスをへらそう」です。おめでとうございます。



クイズ。下の図の中に隠れている漢字を見つけてください。



30個以上ありますよ。